



新棟特集

寝屋川キャンパス 大規模 **リニューアル**

OECUイノベーションスクエア第一期竣工

OECU Club & Circle

大学 硬式庭球部

高校 卓球部

NEWS & TOPICS

大阪電気通信大学高等学校 NEWS

- ・2020年4月スタート 2学科9コースの学び
- ・入試説明会案内／入学試験概要／進学状況など

2019年度決算／2020年度予算



大阪電気通信大学 寝屋川キャンパス

セキュリティソリューション スクエア 第一期竣工

PROJECT ROOM

OECU innovation square



大阪電気通信大学では、新たな時代の学びに向けて、
寝屋川キャンパスをリニューアル。

「オープンな研究室で、専門外の新たな学問に触れ、
研究のイノベーションを起こしたい。」

そんな思いから、OECUイノベーションスクエアと名づけ、
2020年6月に西側半分が竣工。

人が自然と集まる空間で、
これまでにない価値とコミュニケーションを創出。
学びの形を進化させていきます。

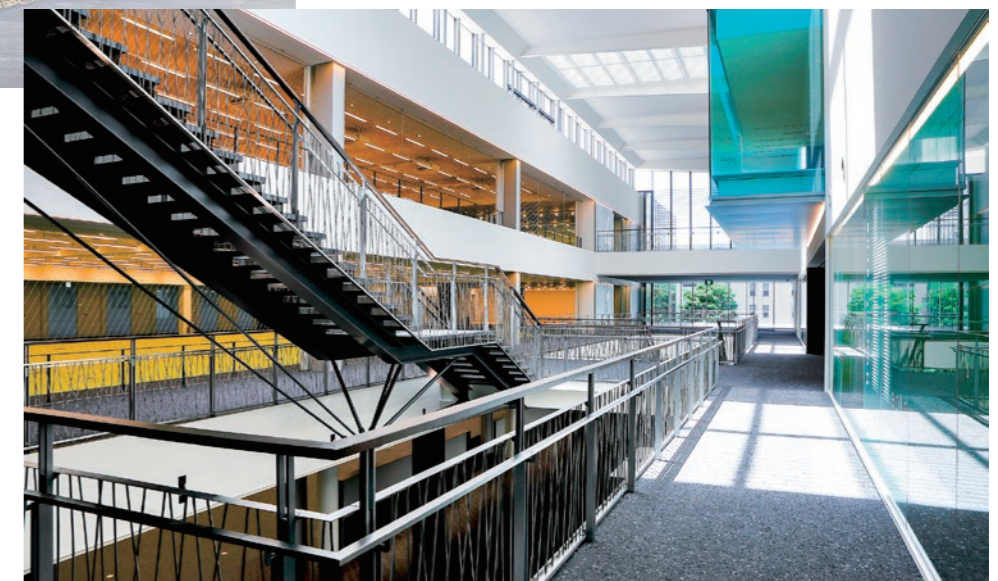


大阪電気通信大学 寝屋川キャンパス
OECUイノベーションスクエア

2020年6月 第一期竣工
2022年春 第二期竣工予定

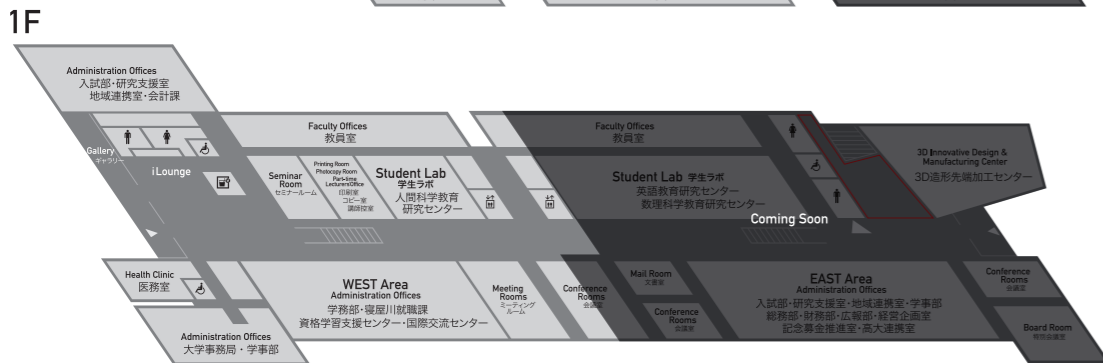
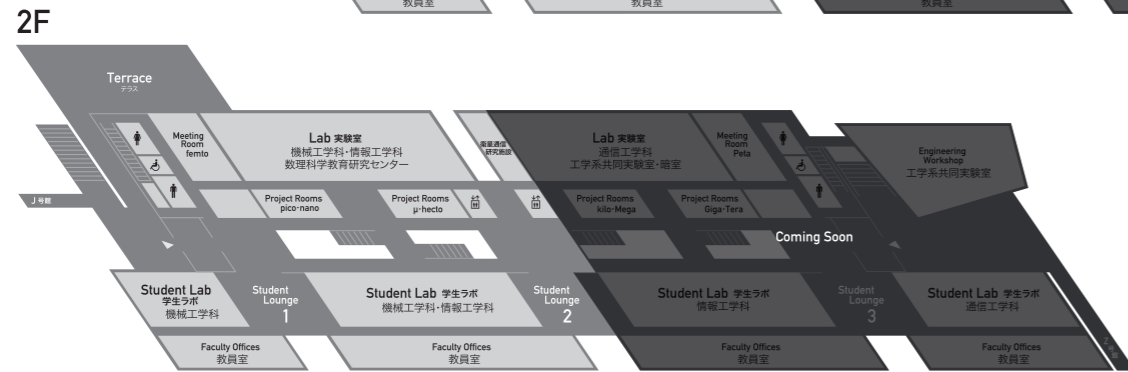
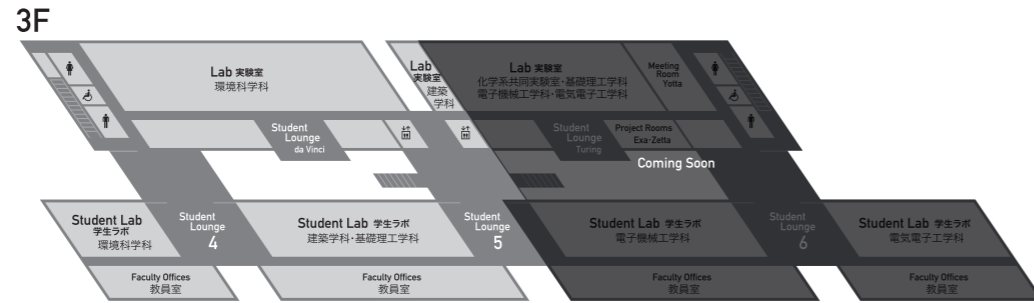
第二期工事中

建設面積 約9,200㎡
延べ床面積 約19,500㎡
高さ 16.555m
階数 地上3階建



FLOOR MAP

新しく誕生した、OECUイノベーションスクエアの施設をご紹介します。これからも変わり続ける寝屋川キャンパスにご期待ください。



Student Lab

学科ごとに区切ったオープンな研究室。研究室間は壁ではなく家具で間仕切るので、隣の学科の研究を感じることができます。大学全体の学びが「見える化」され、今まで知らなかった専門外の研究にも触れることができます。



2階は機械工学科と情報工学科、3階は環境科学科の実験室です。ガラス張りになっているので、廊下から中の様子が見えオープンな実験室になっています。メイン通りを挟んだところに研究室があり、研究で出た課題をすぐ解決しに行くことができます。

Lab



Student Lounge



2階3階の研究室エリアに学生・教員のコミュニケーションの場として、ラウンジを4か所設けました。研究室からメイン通りに出るエリアにあるため、休憩などで「人が自然と集まってくる空間」となっています。隣の学科の様子や研究室の活動を垣間見ることができるので、お互いに刺激しあい、切磋琢磨しあえる場になります。

Student Lounge da Vinci



3階の実験室エリアにあるラウンジです。実験室の前にあるので、実験の休憩中に友達と座って話したり、勉強したりといった学生たちの横のつながりを生む空間です。少し視線を変えるだけで、いつもと違った大学の風景を垣間見ることができます。

パサージュ

イノベーションスクエアの内部は「パサージュ」と呼ばれる3層吹き抜けのアトリウムを設けた広々とした空間になっています。自然光あふれる光環境の中、パサージュに面して研究室や学生ラウンジ、プロジェクトルームなどが設置されています。

i Lounge



キッチンや、木のできた椅子と机を設け、居心地の良さを追求しました。1階西入口を入ってすぐのところ、そして学生のサポート窓口があるWEST Areaの正面にあるため、学生・教職員のコミュニケーションの場として利用しやすい場所になっています。i Loungeの「i」は「innovation」の頭文字。

WEST Area



学生生活サポート窓口である学務部・寝屋川就職課・国際交流センター・資格学習支援センターを学生が集まる1階のメイン通りに設置。学生に寄り添いサポートします。

コンベンションホール



座席数200席以上、ノートPC100台分の電源容量のある会議室です。ロールスクリーンを配置し、オープンキャンパスやイベント会場としても利用されます。

※第一期では、事務エリアとして使用

Project Rooms

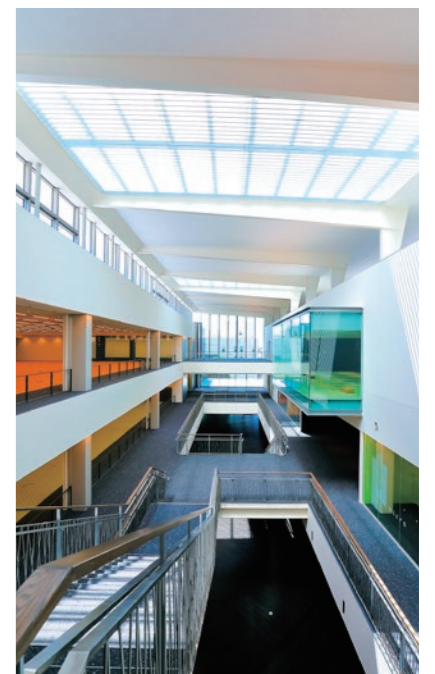


実験室の向かいにあり、実験のアイデアを持ち寄るのに最適なプロジェクトルームです。学生・教員が新たな価値を創造する空間になっています。部屋の名称には国際単位系の接頭語であるpico(10⁻¹²)やnano(10⁻⁹)など理系大学ならではのサインが取り入れられています。

テラス



屋外にある大階段を上がったところに大きなテラスを設けました。研究室や実験室のあるOECUイノベーションスクエアの中でリフレッシュができるスペースとなっています。





Number
25
University

硬式庭球部

硬式庭球部からのメッセージ

少人数だからこそ団結力があり、学部や学科の垣根を越えて仲が良いです。見学希望の連絡はTwitterで受け付けています！ぜひ一度見学にきてください！

●Twitter @oecutenisteam



大学の硬式庭球部は部員12人。四條畷キャンパスのテニスコートで月・水・金曜日の17:30~20:00と、第2土曜日に活動しています。「関西学生テニス連盟」に所属し、昨年のリーグ戦では敗退するも、格上チームを相手に大健闘しました。今年は新型コロナウイルス感染症の影響で活動できない期間があったり、練習時間が短縮されたり厳しい状況が続きますが、リーグ戦の4部昇格を目指して日々練習に取り組んでいます。

普段の練習では、松本賢次コーチの指導

の下、月曜日に1週間の練習メニューを作成。現在は、弱点であるダブルスを強化するための練習に力を入れています。主将の畑



中佑介さん(医療福祉工学部健康スポーツ科学科3年生)は「四條畷キャンパスのテニスコートはハードコート4面と、砂入り人工芝コート1面を備えていて設備が充実しています。昨年末から松本コーチが指導してくださっているので、しっかりと成長できる環境が整っています！」と話してくれました。

大会が中止になるなど大変な状況ですが、目標の「4部昇格」を目指して仲間と練習に励む姿に胸を打たれました。硬式庭球部の今後の活躍がとても楽しみです！

OECU Club & Circle 大学・高校のクラブ・サークル活動に迫る!

高校の卓球部は、顧問の岡村穂高先生と小野貴裕先生の指導の下、部員35人が活動をしています。大阪府内有数の強豪校で、団体戦では近畿大会に3回連続出場(ベスト32)、シングルスでは昨年、3年生の水口颯天さんが大阪大会で優勝。全国大会への出場が決まっていたが、新型コロナウイルス感染症の影響で大会が中止となり、さらに学校も約3カ月間休校に。休校期間中、自宅の鏡の前で素振りの練習をしたり、近所

をランニングして体力維持に努めたり、Youtubeでプレースタイルを研究する部員もいたそうです。6月中旬に授業とともに部活動も再開。感染リスクを低減するために参加する部員数を日替わりで制限し、密にならないように対策しながら放課後や土日の練習に励んでいます。3年生の部長・梅木智之さんは「僕たちの部は強豪校のイメージとは少し違うかもしれませんが。練習は真面目に取り組んでいて時には厳しく感じること

もありますが、みんな仲が良く、それぞれの目標に向かって楽しみながら卓球をやっています。ライバルでありながらも互いにサポートし合えるいい関係です」と笑顔で話してくれました。



卓球部からのメッセージ
僕たちの部の一番の強みは全員仲がいいことです。その中で「今よりもっと上手くなり、大会ではさらに上を目指したい」という意気込みで日々の練習を頑張っています。毎日、剣道場で練習していますのでぜひ一度、見学に来てください。歓迎します!



卓球部

Number
02
High School

情報工学を学ぶ学生有志が「マスク非着用警告システム」を製作



情報工学を学ぶ学生有志が「マスク非着用警告システム」を製作しました。

このシステムは、カメラでとらえた通行人の画像から、マスク着用の有無を判別してモニター上に警告を表示するというもので、一度に複数人を検知できます。本学の情報工学科と大学院 情報工学専攻の学生有志による取り組みで、オンラインで意見交換しながら、システムを開発しました。新型コロナウイルス感染症(COVID-19)感染拡大防止の観点から、マスク着用の啓発のため6月1日から本学寝屋川キャンパスのJ号館1階エントランスに設置しています。



開発の背景

コロナ禍により通学が難しい中、自宅でできる学生主体の取り組みとして情報工学科・情報工学専攻の学生有志が、学部1~4年生を対象にプログラミング勉強会をオンラインで開催しました。今の状況下で情報工学ができることは何かを考え、大学院生と入学したばかりの情報工学科1年生が主体となり、学年や研究室の垣根を越えて、マスク着用の啓発を目的としたシステムの開発に至りました。

システム開発について

5月末までキャンパスへ入構できない状況

本学の新型コロナウイルス感染症対策の取り組み

本学は、緊急事態宣言のもと新型コロナウイルス感染症対策の社会的状況を考慮するとともに、学生の皆さんの安全を最優先し、2020年度前期授業は約1カ月繰り下げ、5月11日から開講しました。授業は原則としてインターネット環境を利用した遠隔授業(オンライン授業)とし、6月1日から実験・実習、卒業研究、大学院生の研究などは、感染症防止対策を実施した上で、面接(対面)授業も行いました。また、修学支援金の支給や、リモート環境が整っていない学生に対してモバイルWi-Fiルーターやパソコンの無償貸し出しを行うなど、様々な緊急支援策を実施しました。



のため、オンラインでのやりとりで開発を進めました。約1週間の製作期間を経て、キャンパス内に設置、稼働しました。認知性を上げるために、カメラで撮影した映像を鏡のように表示し、モニターに映る姿を自分だと認識しやすいよう工夫しました。開発に携わった学生は、マスクを着用しよう1人1人に呼びかけることは難しいが、マスク着用の意識が高められたら嬉しいと話しています。

新・オープンキャンパスを開催しました

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、通常のオープンキャンパスをWEBオープンキャンパスに切り替えて開催していましたが、7月25日から入試説明や大学紹介、キャンパス施設見学ツアー、個別相談を中心とした来場型の「新・オープンキャンパス」を並行して学部別に開催しました。

「新・オープンキャンパス」は事前予約、少人数制で、安心して本学にお越しいただけるよう、受付時の検温や手指の消毒、マスクの着用などの感染予防策をとりました。イベント内容は学部ごとに多少異なりますが、多くの方に本学の魅力を知っていただく機会となりました。



2020年春の叙勲を受章
元場俊雄元学長が



4月29日付で発表された2020年春の叙勲・褒章で、元場俊雄元学長が瑞宝中級章を受章しました。政府は春秋叙勲として年2回、国家または公共に対し功労のある人物、社会の各分野における優れた行いのある人物などを表彰しています。瑞宝中級章は、公務などに長年にわたり従事し、成績を挙げた人物に贈られる勲章です。元場元学長は2002年4月に第8代学長に就任し、2008年3月の退任まで2期6年にわたり本学の発展に尽力されました。

名誉教授称号記授与式



9月2日、寝屋川キャンパスで名誉教授称号記授与式を行いました。授与された先生方の長年にわたる本学への貢献に対し大石利光理事長・学長から感謝の言葉が述べられ、称号記が授与されました。

名誉教授(敬称略)

- 猪原正守
(元 情報通信工学部
情報工学科 教授)
- 神崎和男
(元 総合情報学部
ゲーム&メディア学科 教授)

寄付者顕彰



●元理事の観野福太郎氏に「特別荣誉賛助員」

本学の寄付者への顕彰制度に基づき、多額のご寄付をいただいた観野福太郎氏に「特別荣誉賛助員」の称号が授与されました。

8月7日に表彰式を執り行い、大石利光理事長から感謝状と記念品が贈られました。観野氏は本学のOBでもあり、過去には理事も務められるなど、本学に多大なる貢献をいただいております。観野氏は「海外の学会出席など、国際交流に役立ててほしい」とお話しくださいました。

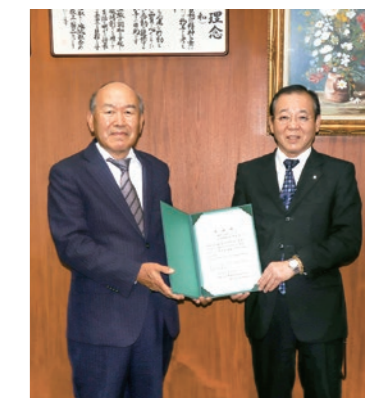


●後援会長の吉川隆章氏に「名誉賛助員」

7月23日、本学の寄付者への顕彰制度に基づく表彰式を執り行いました。「名誉賛助員」の称号が授与された吉川隆章氏には、大石利光理事長から感謝状と記念品が贈られました。吉川氏は2020年6月に、後援会会長に就任されています。

●株式会社オンテックに感謝状

7月17日、本学の寄付者への顕彰制度に基づく表彰式を執り行い、株式会社オンテック(代表取締役社長 中山修氏)へ、大石利光理事長から感謝状と記念品が贈られました。中山氏は本学のOBでもあり、友電会会長を務められました。



寝屋川キャンパス
大規模リニューアル工事
進捗レポート

第4弾

2018年秋から寝屋川キャンパス大規模リニューアル工事を本格的にスタートし、2020年6月に第一期工事の中心となる新棟OECUイノベーションスクエア(新A号館)の西側半分が竣工しました。早速、第二期工事もスタートしており、本学寝屋川キャンパスの顔として1967年の竣工以来、53年間学生たちを見守ってきた旧A号館は、解体に先立ち、引っ越し作業や内装解体を進めています。

8月3日には衛星通信研究施設(T号館)の屋上に設置されて

いたパラボラアンテナの撤去工事を行いました。BSアンテナ(直径1.2メートル)とその他の小型のアンテナ(直径30~60センチ)は新棟屋上に移設。衛星通信研究施設は新棟内に移りましたが、今までと同様に活発な研究を続け、更なるデータの蓄積とITU-Rなどへの貢献が期待されています。また、M号館前のヤシ科の樹木、フェニックスを新棟の工事のため伐採しました。フェニックスの木は、本学のシンボルツリーとして大切な役割を果たしてきました。

学園創立80周年記念事業募金芳名録

2019年10月1日より募集を開始いたしました学園創立80周年記念事業募金は、皆様からの温かいご支援を受け、2020年7月31日現在で寄付件数281件、寄付総額は14,293,050円となりました。皆様の深いご理解とご協力に感謝し、厚く御礼を申し上げます。

学園創立80周年記念事業募金へご寄付いただいた皆様へ感謝の意を込め、ご芳名を掲載させていただきます。

ご芳名は、2020年4月1日から2020年7月31日までにご寄付をいただきました方(個人・法人)を掲載いたしました(2019年10月1日~2020年3月31日までにご寄付いただきました方は前号の学報に記載済)。

ご支援、誠にありがとうございました。

【個人】

東 康 則	石 井 一 也	稲 田 誠	茨 木 陽 光
今 城 ま じ か	植 田 秀 司	岡 修 次	岡 本 清 孝
岸 本 恭 子	北 田 義 春	北 田 由 博	北 野 武 一
木 原 義 和	古 仲 健 一	西 條 博 記	新 宅 寛
進 藤 明 夫	杉 本 純 彦	高 田 丞 丞	多 田 賢 介
谷 嘉 久	辻 本 敏 行	徳 島 耕 次	富 田 真 里
中 野 正 三	中 村 元 重	羽 崎 完	平 田 貴 之
藤 崎 紘 久	不 破 信 勝	本 多 竜 太	松 川 学
松 宮 徹	丸 尾 重 朗	光 岡 國 夫	水 田 真 人
南 茂 夫	宮 尾 正 夫	宮 城 弘 靖	宮 崎 孝
物 井 孝 雄	森 幸 治	矢 ノ 根 か お り	山 村 志 津 夫
葭 原 由 治	米 倉 正 美		

【法人】

株式会社オンテック	株式会社柴田ハウジング	株式会社タカハタ
-----------	-------------	----------

一般・継続募金寄付者芳名録

一般・継続募金は、皆様からの温かいご支援を受け、2020年度(7月31日現在)は寄付件数99件、寄付総額は86,345,000円となりました。皆様の温かいご理解とご協力に感謝し、厚く御礼を申し上げます。

一般・継続募金へご寄付いただいた皆様へ感謝の意を込め、ご芳名を掲載させていただきます。

ご芳名は、2020年4月1日から2020年7月31日までにご寄付をいただきました方(個人)を掲載いたしました。

ご支援、誠にありがとうございました。

【個人】

石 本 一 平	茨 木 陽 光	上 垣 公 明	上 川 直 紀
植 田 一 正	魚 井 宏 高	魚 谷 安 久	海 老 原 聡
王 少 鋒	河 合 利 幸	川 口 雅 之	観 野 福 太 郎
北 尾 聡 子	北 田 由 博	佐 々 木 厚 司	塩 田 邦 成
住 友 雄 太	高 橋 和 子	田 中 孝 徳	辻 聖 見
寺 西 正 光	都 倉 信 樹	中 田 亮 生	中 村 文 俊
西 野 大 樹	林 秋 光	早 野 秀 樹	藤 川 智 彦
不 破 信 勝	堀 井 大 輔	前 野 智 子	松 浦 秀 治
萬 代 武 史	森 幸 治	山 崎 敏 之	山 下 文 裕
山 本 剛 宏			

※各芳名録はそれぞれ50音順、掲載承諾分のみ

設置学科・コース

より専門的で高大連携を強化、新たな時代に応える力を学ぶためのコースが2020年4月に誕生しました。詳しくは高校Webサイトをご覧ください。



入試説明会 中学生・保護者対象 要予約

詳しくは高校Webサイトをご覧ください。

内容：2021年度入試説明・入試相談 会場：大阪電気通信大学高等学校

▶第1回	▶第2回	▶第3回	▶第4回	▶第5回
10.10. 10:00~	11.14. 10:00~	11.28. 10:00~	11.29. 10:00~	12.12. 13:00~

2021年度 入学試験概要

詳しくは高校Webサイトをご覧ください。

学 科	普通科	工学科
募集人員	160名 ・進学総合コース 120名 ・健康スポーツコース 40名	160名 ・理数コース 40名 ・工学連携コース 120名
出願期間	1月22日(金)～2月1日(月)必着 ※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、来校での提出はご遠慮ください。	
出願手続き	入学志願者は必要書類を添えて本校事務室宛に、必ず簡易書留にて郵送してください。 ※封筒には「入学願書在中」と朱書きしてください。 ※後日、本校の受験票を送付いたします。	
試験日	●筆記試験(国・数・英)：2月10日(水) 午前9時～(集合午前8時50分) ●面接試験(受験生のみ)：2月11日(木・祝) ※受験番号により面接時間が異なります	
合格発表	2月13日(土) ※2月12日に速達発送	

◎試験科目：国語、数学、英語 各100点、50分 ◎両科とも男女共学
◎普通科の「健康スポーツコース」は1年次より1クラス(40人)募集。
◎工学科の「理数コース」は1年次より1クラス(40人)募集。それ以外のコースは一括募集し、2年次にコース分けを行う。



2019年度 卒業生進路実績

2020年3月に卒業した生徒の進路実績をお知らせします。

■大学・学部別 合格数・進学数 合計

大学・短大名	学部名	普通科		電子工業科		合計	
		合格数	進学数	合格数	進学数	合格数	進学数
大阪電気通信大学	工学部	24	24	25	25	159	154
	情報通信工学部	7	7	16	14		
	医療健康科学部	21	21	27	26		
	総合情報学部	9	9	30	28		
滋賀大学	データサイエンス学部			1	1	1	1
同志社大学	理工学部			1	1	1	1
立命館大学	情報理工学部			2	2	2	2
関西大学	システム理工学部			1	1	2	2
	人間健康学部	1	1				
龍谷大学	先端理工学部	1	1			2	2
	文学部			1	1		
近畿大学	工学部	1	1			10	7
	理工学部			2	2		
	法学部	1	1				
	産業理工学部	1	1				
大阪工業大学	生物理工学部			3		7	6
	経済学部			1	1		
	文芸学部	1	1				
	ロボティクス&デザイン工学部			1	1		
追手門学院大学	工学部			4	3	19	19
	情報科学部			1	1		
	知的財産学部			1	1		
	経営学部	3	3	2	2		
	経済学部	4	4	1	1		
	国際教養学部	4	4				
大阪商業大学	社会学部	3	3			2	2
	地域創造学部	2	2				
大阪芸術大学	経済学部			1	1	3	3
	芸術学部			3	3		
大阪産業大学	デザイン工学部	1	1	1	1	5	5
	経営学部	2	2				
摂南大学	経済学部	1	1			2	1
	理工学部	1	1				
京都外国語大学	外国語学部			1	1	1	1
	総合文化学部			1	1		
大手前大学	国際交流学部	1	1			1	1
大阪観光大学	歴史学部	1				1	
佛教大学	経営経済学部	1	1			1	1
大阪国際大学	人間科学部	1	1			3	3
	国際教養学部			1	1		
大阪学院大学	外国語学部	1	1			3	3
	経済学部	1	1				
大阪経済大学	法学部	1	1			1	1
	人間科学部	1					
相愛大学	人文学部	1	1			2	2
	人間発達学部	1	1				
芦屋大学	経営教育学部	1	1			2	2
	臨床教育学部	1	1				
花園大学	文学部	1	1			2	2
	社会福祉学部	1	1				
関西福祉科学大学	健康福祉学部	1	1			1	1
京都橘大学	文学部	3				3	
京都精華大学	人文学部	1	1			1	1
九州共立大学	スポーツ学部	1	1			1	1
広島国際大学	保健医療学部	1	1			1	1
四天王寺大学	人文社会学部	1	1			2	2
四條畷学園大学	経営学部	1	1			2	2
	リハビリテーション学部	2	2				
人間総合科学大学	保健医療学部			1	1	1	1
大阪人間科学大学	保健医療学部	1	1			1	1
大阪成蹊大学	経営学部	1	1			1	1
大谷大学	文学部	2				2	
東大阪大学	こども学部	1	1			1	1
日本工業大学	先進工学部			1	1	1	1
文教大学	情報学部			1	1	1	1
四年制大学 計		119	111	131	122	250	233
大阪芸術大学	短期大学部	1	1			1	1
関西外国語大学	短期大学部	1	1			1	1
短期大学 計		2	2	2	2	2	2
合計		121	113	131	122	252	235

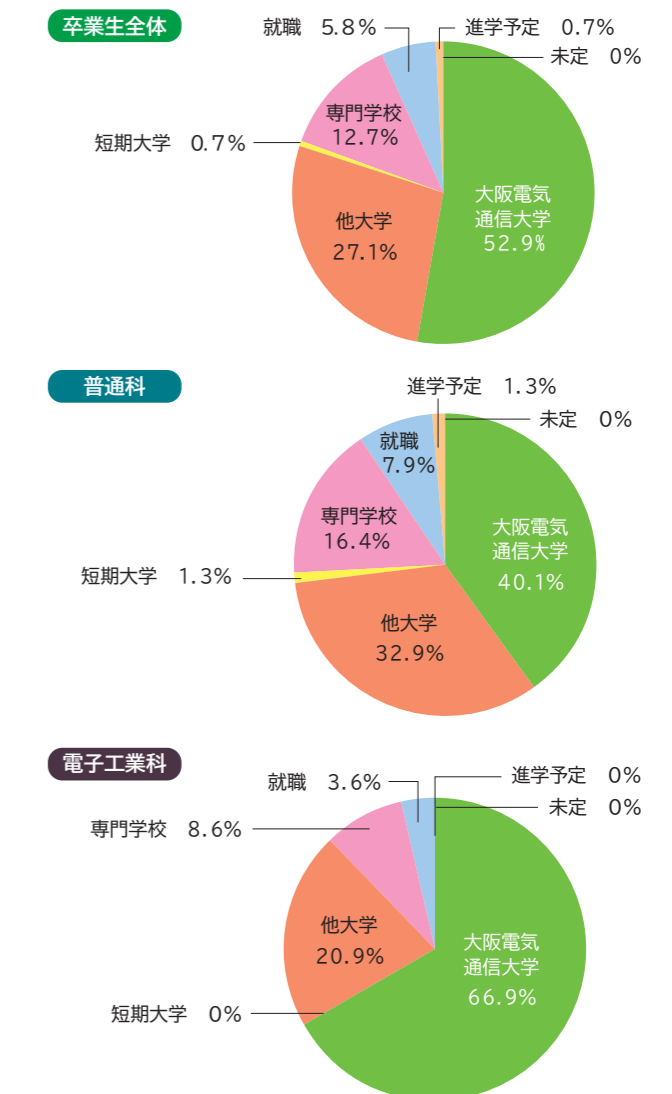
■専門学校状況

OCA大阪デザイン&IT専門学校	グラムール美容専門学校
日本理工情報専門学校	大阪ベルエビル美容専門学校
専門学校日産京都自動車大学校	近畿福祉専門学校
大阪建築専門学校	大阪IT会計専門学校
HAL大阪	大阪文化服装学院
大原情報デザインアート専門学校	専門学校ESPエンタテインメント大阪
大阪工業技術専門学校	大原簿記法律専門学校
近畿医療専門学校	キャットミュージックカレッジ専門学校
関西医療専門学校	放送芸術学院専門学校
大阪医療福祉専門学校	日本写真映像専門学校
大阪ハイテクノロジー専門学校	京都外国語専門学校
明治東洋医学専門学校	大阪リゾート&スポーツ専門学校
大阪医専	大阪ECO動物海洋専門学校
神戸医療福祉専門学校	関西職業能力開発促進センター

■就職状況

東日本旅客鉄道(株)	(有)江村建設
ダイハツ工業(株)	三栄建設(株)
タナカブリコート(株)	旭電設(株)
ANAスカイビルサービス(株)	レッドロブスタージャパン(株)
(株)エディオン	(株)大陽工業所
(株)ザ鈴木	陸上自衛隊
ALSOK近畿	(有)栄信工芸
アイテック(株)	Daikok(株)

■2020年3月卒業生 進路状況



2019年度 決算報告

学校法人大阪電気通信大学の2019年度決算は、監査法人及び監事の監査を終え、5月23日の評議員会の諮問を経て、理事会にて承認されました。

学校法人会計基準では、計算書類として「資金収支計算書」、「事業活動収支計算書」、「貸借対照表」、並びに、資金収支計算書を活動区分毎に区分けし、企業会計におけるキャッシュフロー計算書に位置付けられる「活動区分資金収支計算書」を作成することとなっています。詳細な決算報告、事業報告の内容につきましては、当学校法人ホームページ (<https://www.osakac.ac.jp/corp/>) 内の学園情報に掲載しております。

2019年度の資金収支計算書と事業活動収支計算書、並びに貸借対照表は次の通りです。

(1) 資金収支計算書

資金収支計算書(表1)は、学校法人の毎会計年度における、教育研究その他の諸活動に伴い発生する全ての収入、支出の内容及び支払資金の顛末を明らかにしたものです。2019年度における資金収入は123億4,451万円となりました。これに対し資金支出は111億8,886万円で、当年度の資金収支差額は11億5,565万円の収入超過となり、これに前年度の繰越金83億4,760万円を加え、翌年度への繰越金は95億326万円となりました。主な内容は、次の通りです。

●収入の部

1. 学生生徒等納付金収入

大学では、授業料収入等の増加により、納付金全体で、前年度より1億1,646万円の増収。高校では、生徒数の増加により、納付金全体で、前年度より2,457万円の増収

2. 手数料収入

大部分は入学検定料。その他手数料もあわせて前年度より3,798万円の増収

3. 寄付金収入

前年度より726万円の増収

4. 補助金収入

国及び大阪府等からの補助金。このうち経常費補助金は10億1,916万円で、その他の補助金も含め前年度より5,272万円の増収

5. 付随事業・収益事業収入

主として大学の研究受託収入(39件)

6. 雑収入

主として退職者に対する私学退職金財団からの交付金や施設設備利用料

7. 借入金等収入

日本私立学校振興・共済事業団から寢屋川キャンパス新棟工事関連費として、17億円を借入

8. 前受金収入

2019年度末までに2020年度入学生から受領した入学金・授業料等

9. その他の収入

前年度の未収入金の入金額、施設設備等拡充引当特定資産の取り崩しによる繰入額、学外諸団体からの預り金の受け入れ等

10. 資金収入調整勘定

期末の未収入金と前期末の前受金。現金収受が翌年度あるいは前年度に行われ、当年度に資金が入金されないで控除

●支出の部

1. 人件費支出

教職員の給与・退職金。当年度は、全体として1億6,957万円の増額

2. 教育研究経費・管理経費支出

教育研究経費は教育及び研究に要した経費で奨学金、修繕費等。管理経費は、学生生徒募集等に要した諸経費等

3. 施設関係支出

建物・構築物の新築、改修に要する支出。主な支出として、寢屋川キャンパス新棟工事関連費用、四條畷キャンパス4号館アリーナ空調設置工事費用

4. 設備関係支出

機器、備品、図書等教育研究用設備取得に要した支出。主な支出と

して、寢屋川キャンパスJ号館・Y号館電話交換機更新工事費用、寢屋川キャンパスJ号館演習室システム更新費用

5. その他の支出

前年度の未払金の支払い、学外諸団体の預り金の払い出し等

6. 資金支出調整勘定

当年度に計上した諸経費のうち翌年度に支払う金額、または前年度に既に支払った金額。当年度に資金を支出しないので控除

2019年度資金収支計算比較表(表1) 単位:千円

	科目	本年度決算額	前年度決算額	増減
収入の部	学生生徒等納付金収入	7,390,494	7,249,453	141,040
	手数料収入	226,440	188,460	37,980
	寄付金収入	23,686	16,420	7,266
	補助金収入	1,289,665	1,236,945	52,720
	資産売却収入	0	206,639	△ 206,639
	付随事業・収益事業収入	73,334	26,706	46,627
	受取利息・配当金収入	119,364	97,235	22,128
	雑収入	293,615	225,982	67,632
	借入金等収入	1,700,000	0	1,700,000
	前受金収入	1,099,560	1,130,275	△ 30,714
	その他の収入	1,468,650	3,167,569	△ 1,698,918
	資金収入調整勘定	△ 1,340,294	△ 1,596,560	256,265
	前年度繰越支払資金	8,347,603	6,996,646	1,350,957
収入の部合計	20,692,121	18,945,774	1,746,347	
支出の部	人件費支出	4,853,923	4,684,348	169,574
	教育研究経費支出	2,018,373	2,147,725	△ 129,352
	管理経費支出	735,474	648,329	87,145
	借入金等利息支出	18,052	17,739	312
	借入金等返済支出	94,430	94,430	0
	施設関係支出	2,080,117	892,409	1,187,707
	設備関係支出	197,137	126,320	70,816
	資産運用支出	835,077	1,567,226	△ 732,149
	その他の支出	1,327,808	1,300,999	26,808
	資金支出調整勘定	△ 971,532	△ 881,359	△ 90,173
	翌年度繰越支払資金	9,503,260	8,347,603	1,155,656
	支出の部合計	20,692,121	18,945,774	1,746,347

.....

(2) 事業活動収支計算書

事業活動収支計算書(表2)は、当該年度の事業活動収入と事業活動支出の内容を示し、事業活動収支の均衡状態を把握して学園の経営状態を見る重要な計算書です。資金収支計算書では、全ての収入支出を表しており、負債となる借入金や預り金の収入、返済金や払出金等の支出が含まれていますが、事業活動収支計算書ではそれらは含まれません。また、事業活動収入の中の「寄付金」には、資金の伴わない現物寄付が含まれています(資産となる現物寄付の場合は「その他の特別収入」に含まれます)。事業活動支出の部では、支払資金でない「退職給与引当金繰入額」、「減価償却額」及び資産を売却した売却損や廃棄した場合の「資産処分差額」等の科目が含まれています。概要は、次の通りです。

当年度の事業活動収入の合計は、94億6,172万円で前年度より3億7,911万円の増額となりました。次に事業活動支出の合計は、88億7,177万円で前年度より1億8,069万円の増額となりました。

結果として、2019年度の基本金組入前当年度収支差額は5億8,994万円の収入超過となり、基本金組入額合計3億2,145万円を控除した当年度収支差額は2億6,849万円の収入超過となりました。

(注)「基本金組入額」とは学校法人が教育研究等諸活動の計画に基づき取得した資産を継続的に保持するために維持すべきものとして、基本金組入前当年度収支差額から組入れた金額であり、組入れ対象資産として次の4つに区分されます。

第一号基本金: 設立当初に取得した固定資産で教育の用に供されるものの価額又は新たな学校の設置若しくは既設の学校の規模の拡大若しくは教育の充実向上のための固定資産の価額

第二号基本金: 新たな学校の設置又は既設の学校の規模の拡大若しくは教育の充実向上のために将来取得する固定資産の取得に充てる金銭その他の資産の額

第三号基本金: 基金として継続的に保持し、かつ、運用する金銭その他の資産の額
第四号基本金: 恒常的に保持すべき資金として定められた計算により算出された額

2019年度事業活動収支計算比較表(表2) 単位:千円

	科目	本年度決算額	前年度決算額	増減		
教育活動収支	収入の部	学生生徒等納付金	7,390,494	7,249,453	141,040	
		手数料	226,440	188,460	37,980	
		寄付金	24,319	21,044	3,275	
		経常費等補助金	1,287,551	1,197,059	90,492	
		付随事業収入	73,334	26,706	46,627	
		雑収入	293,422	225,982	67,439	
	教育活動収入計	9,295,563	8,908,706	386,857		
	支出の部	人件費	4,775,012	4,680,273	94,739	
		[うち、退職給与引当金繰入額]	(247,274)	(222,777)	(24,496)	
		教育研究経費	3,138,485	3,272,525	△ 134,039	
		[うち、減価償却額]	(1,049,674)	(1,119,137)	(△ 69,462)	
		管理経費	707,994	657,316	50,677	
[うち、減価償却額]		(5,795)	(6,764)	(△ 969)		
徴収不能額等	0	0	0			
教育活動支出計	8,621,492	8,610,115	11,377			
教育活動収支差額	674,071	298,591	375,479			
教育活動外収支	収入の部	受取利息・配当金	119,364	97,235	22,128	
		その他の教育活動外収入	0	0	0	
		教育活動外収入計	119,364	97,235	22,128	
	支出の部	借入金等利息	18,052	17,739	312	
		その他の教育活動外支出	0	0	0	
		教育活動外支出計	18,052	17,739	312	
	教育活動外収支差額	101,311	79,495	21,816		
	経常収支差額	775,382	378,087	397,295		
	特別収支	収入の部	資産売却差額	0	0	0
			その他の特別収入	46,792	76,664	△ 29,872
		支出の部	資産処分差額	200,863	63,184	137,679
			その他の特別支出	31,365	36	31,329
特別支出計		232,229	63,220	169,008		
特別収支差額		△ 185,436	13,444	△ 198,880		
基本金組入前当年度収支差額		589,946	391,531	198,415		
基本金組入額合計		△ 321,450	△ 599,235	277,785		
当年度収支差額	268,496	△ 207,703	476,200			

(参考)

事業活動収入計	9,461,720	9,082,606	379,114
事業活動支出計	8,871,774	8,691,075	180,698

.....

(3) 貸借対照表

貸借対照表(表3)は、法人の財政状態を表すものです。当年度の資産総額は438億4,988万円で前年度より21億9,804万円増加、負債の総額は77億8,186万円で前年度より16億809万円の増加となりました。その結果、資産の部合計から負債の部合計を控除した法人の純資産の部合計は、360億6,802万円で、前年度より5億8,994万円の増加となりました。

2019年度貸借対照表(表3) 単位:千円

科目	資産の部		負債及び純資産の部		
	本年度末	前年度末	科目	本年度末	前年度末
固定資産	34,022,925	33,019,170	負債	7,781,860	6,173,760
有形固定資産	24,821,571	23,823,157	固定負債	5,240,694	3,715,095
特定資産	9,192,507	9,186,785	流動負債	2,541,165	2,458,665
その他の固定資産	8,845	9,227			
			純資産	36,068,023	35,478,076
流動資産	9,826,958	8,632,667	基本金	44,288,842	43,967,392
			繰越収支差額	△ 8,220,818	△ 8,489,315
資産の部合計	43,849,883	41,651,837	負債及び純資産の部合計	43,849,883	41,651,837

2020年度 予算

2020年度の資金収支予算書と事業活動収支予算書は次の通りです。

●資金収支予算書

2020年度の資金収入の合計は126億2,043万円、一方資金支出の合計は144億2,622万円で、18億578万円の支出超過となります。当年度は、寢屋川キャンパス新棟工事関連費及び「新型コロナウイルス感染症対策における学びの緊急支援」に伴う一時費用の支出等を計上しており、翌年度への繰越金は、76億9,747万円の見込みです。

なお、上記の「新型コロナウイルス感染症対策における学びの緊急支援」として、本学独自の修学支援金を支出致しております。

●事業活動収支予算書

経常収支のうち、教育活動における収支差額は6億3,182万円の支出超過、教育活動外における収支差額は4,101万円の収入超過、双方を合わせた経常収支差額が5億9,080万円の支出超過となります。また、特別収支差額は1億8,185万円の支出超過となり、当年度の前備費として4,500万円計上したことにより、基本金組入前当年度収支差額は8億1,765万円の支出超過となります。結果として、基本金組入額32億7,108万円を控除した当年度収支差額は40億8,874万円の支出超過となる見込みです。

2020年度資金収支予算書 単位:千円

収入の部		2020年度事業活動収支予算書 単位:千円		
科目	予算額	科目	予算額	
学生生徒等納付金収入	7,680,235	学生生徒等納付金	7,680,235	
手数料収入	188,025	手数料	188,025	
寄付金収入	28,019	寄付金	11,494	
補助金収入	1,224,092	経常費等補助金	1,212,592	
雑収入	179,914	付随事業収入	50,925	
教育活動収入計	9,323,187	雑収入	179,914	
資産売却収入	0	教育活動収入計	9,323,187	
付随事業・収益事業収入	50,925	人件費	4,819,851	
受取利息・配当金収入	70,000	教育研究経費	4,410,013	
雑収入	152,951	管理経費	725,145	
借入金等収入	2,300,000	徴収不能額等	0	
前受金収入	1,025,368	教育活動支出計	9,955,009	
その他の収入	1,075,835	教育活動収支差額	△ 631,822	
資金収入調整勘定	△ 1,175,014	受取利息・配当金	70,000	
前年度繰越支払資金	9,503,260	その他の教育活動外収入	0	
収入の部合計	22,123,698	教育活動外収入計	70,000	
		借入金等利息	28,982	
		その他の教育活動外支出	0	
		教育活動外支出計	28,982	
		教育活動外収支差額	41,017	
		経常収支差額	△ 590,804	
		収入の部	資産売却差額	0
		事業活動	その他の特別収入	48,025
			特別収入計	48,025
		支出の部	資産処分差額	229,878
			その他の特別支出	0
		特別支出計	229,878	
		特別収支差額	△ 181,853	
		予備費	45,000	
		基本金組入前当年度収支差額	△ 817,658	
		基本金組入額合計	△ 3,271,088	
		当年度収支差額	△ 4,088,746	

学校法人大阪電気通信大学 創立80周年記念事業募金

ご支援のお願い

学校法人大阪電気通信大学は、2021年に創立80周年を迎えます。

本学園は、今後深化するAI・IoTに対して、教育研究環境を更に充実させるため、学園創立80周年記念事業として、大学は寝屋川キャンパス新棟建築整備事業、高等学校は教育設備機器整備事業を行う計画をしております。

各事業にご理解をいただき、何卒ご寄付を賜りますよう、お願い申し上げます。

理事長 大石 利光



寝屋川キャンパス新棟建築整備事業完成イメージ図

1. 募金用途および目標額(3億円)

- (1) 寝屋川キャンパス新棟建築整備事業(募金目標額：2億7千万円)
- (2) 高等学校教育設備機器整備事業(募金目標額：3千万円)

2. 募金期間 2019年10月1日～2022年9月30日(3年間)

3. 募金金額

個人

1口1万円以上

法人・団体

1口10万円以上

- ・できれば複数口のご協力をお願いします
- ・1口未満のご寄付につきましてもありがたくお受けいたします。

学園創立80周年
記念事業募金の
詳細はこちら



寄付金に関する
お問い合わせ先

法人事務局 記念募金推進室

TEL：072-824-1131 (代) FAX：072-824-1141 E-mail：bokin@osakac.ac.jp

新棟概要

建築面積：約9,200㎡
延べ床面積：約19,500㎡
高さ：16.555m
階数：地上3階建
構造：鉄骨造(体育館のみ木造)
施設：
1階 事務室、教員室、研究室、
実験室、体育館、会議室、
3D造形先端加工センター
2～3階 教員室、研究室、実験室、
プロジェクトルーム等
時期：
(第一期) 2020年6月竣工
(第二期) 2022年春竣工予定
竣工時期、フロアプラン等は今後の検討により、
変更となることがあります。